

認知症に関する活動計画（概要）

栃木県作業療法士会では、令和5年度より地域共生社会推進部（訪問・通所リハビリテーション推進部門、認知症ケア推進部門、障害児・者福祉推進部門）が設置され、認知症ケア推進部門では、認知症アップデート研修として、コミュニケーションToolとしての回想法や若年性アルツハイマー型認知症やMCIの現状や施策、回復期事例への対応方法の意見交換会を実施。地域共生社会推進部門としては、地域での認知症施策を知り、退院後の生活をより深く考えられることを目的とし研修会を実施した。令和6年度は知識ではなく実際の場に赴き、体験しながら地域での認知症作業療法を知るをテーマに認知症ケア推進部では体験型の座談会を2回、研修会を1回を開催予定。地域共生社会推進部門では、前年度と同様に地域での認知症施策をテーマに、認知症ケア推進部で実施した座談会の様子や体験を通して、地域での活動に関心を持ってもらえるな研修を実施予定。

世界アルツハイマー・デーでのイベントの企画

各市町ではイベントを開催するが、士会としては携われていない。大田原市では、アルツハイマーデーに市役所庁舎内にておおたわらりハネット（大田原市内で勤務しているリハ専門職の団体）と連携して認知症に関しての普及・啓発活動を実施予定

認知症の人と家族の会との連携事業

認知症の人と家族の会が運営するオレンジサロン石蔵カフェにて認知症の方とボランティアの方々が共同で作った昼食を食べながら、オレンジサロン利用者や参加者と交流を図る座談会を実施。あえて形式建てせず、普段の様子の中での交流会であった為、カフェ内の雰囲気を感じ易い、利用者の率直な声などを聴くことができる、参加者からプライベートでも行きたいとの意見があるなど地域での認知症活動に興味・関心を持ってもらうことができた為、有益な座談会となった。一方、形式建ていなかった為、オレンジサロンを立ち上げた際の資金や協力体制、作業療法士として手伝えることなどの情報を得ることができなかった。今後継続して座談会を実施し、関係を深めていく中で、オレンジサロンの立ち上げ・運営、作業療法士に求めることなどの知識を得ることが出来る研修会の開催を検討している



認知症サポーターステップアップ研修

那珂川町では昨年度から作業療法士に認知症サポーターステップアップ研修の講師依頼があり、昨年度は2回実施、今年度は1回実施予定となっている。研修会の様子は那珂川町のケーブルテレビでも放送された。ステップアップ研修会に参加された方々でチームオレンジを結成し、結団式へも参加。結成して1年たつ本年度はフォローアップ研修としてチームオレンジとしての活動の振り返りを行う予定。

